

第6次椎葉村長期総合計画の策定に向けた  
住民アンケート 結果報告書

2021年4月

椎 葉 村

### 【アンケートの目的】

今後の村づくりの方向性を住民みんなで考える『第6期椎葉村長期総合計画』の策定にあたり、基礎調査として住民のみなさんのご意見をいただくため、このアンケートを実施しました。

### 【アンケート実施概要】

#### ●回答期間

2021年2月5日～3月5日

#### ●調査方法

組合長を通じて全世帯に配布し、郵送もしくは役場への持ち込みにより回収しました。

#### ●対象

18歳以上の全ての椎葉村民2,323名

#### ●対象者数と有効回答率

#### 全体

該当者数	回答数	回答率(%)
2,323	1,215	52.3

#### 性別ごと

性別	該当者数	回答数	回答率(%)
男	1,170	604	51.6
女	1,153	608	52.7

#### 年代ごと

年代	該当者数	回答数	回答率(%)
10代	15	4	26.7
20代	102	35	34.3
30代	217	111	51.2
40代	259	125	48.3
50代	312	187	59.9
60代	487	280	57.5
70代	393	232	59.0
80歳以上	538	238	44.2

## 地区ごと

地区	該当者数	回答数	回答率(%)
上椎葉	665	324	48.7
鹿野遊	169	94	55.6
仲塔	86	66	76.7
尾八重	61	37	60.7
尾向	348	131	37.6
不土野	99	61	61.6
樽尾	33	26	78.8
大河内	185	111	60.0
小崎	216	138	63.9
松尾	461	222	48.2

回収したアンケートのうち、未回答の設問が多いものについては無効回答としました。

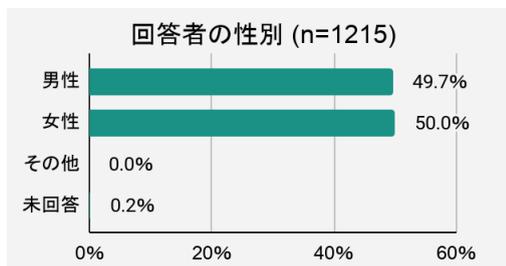
### 【アンケートの読み方】

- 図中の「n」は、設問ごとの対象者数を示しています。
- 複数回答可の設問については、割合の合計が100%を超える場合があります。
- 設問によって、全体的な傾向の他に性別ごと、地区ごと、年代ごとにデータの分析を行いました。また、前回の調査(2010年)と比較可能な設問については比較を行っています。

問1 あなたの性別を教えてください。

男性49.7%、女性50.0%とほぼ半々の結果になりました。

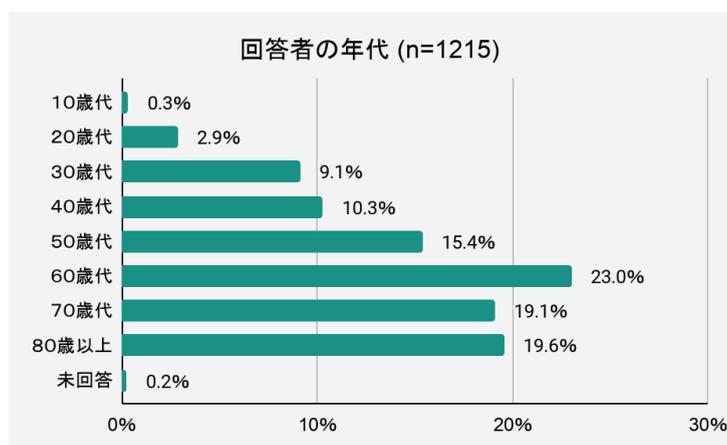
選択肢	回答数	割合(%)
男性	604	49.7
女性	608	50.0
その他	0	0.0
未回答	3	0.2
合計	1215	100



問2 あなたの年齢を教えてください。

60歳代が最も多く、60代以上が61.7%を占める結果となりました。

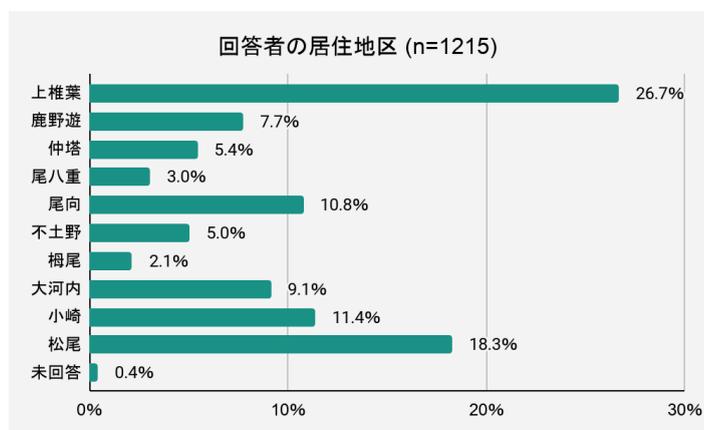
年代	回答数	割合(%)
10歳代	4	0.3
20歳代	35	2.9
30歳代	111	9.1
40歳代	125	10.3
50歳代	187	15.4
60歳代	280	23.0
70歳代	232	19.1
80歳以上	238	19.6
未回答	3	0.2
合計	1215	100.0



問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。

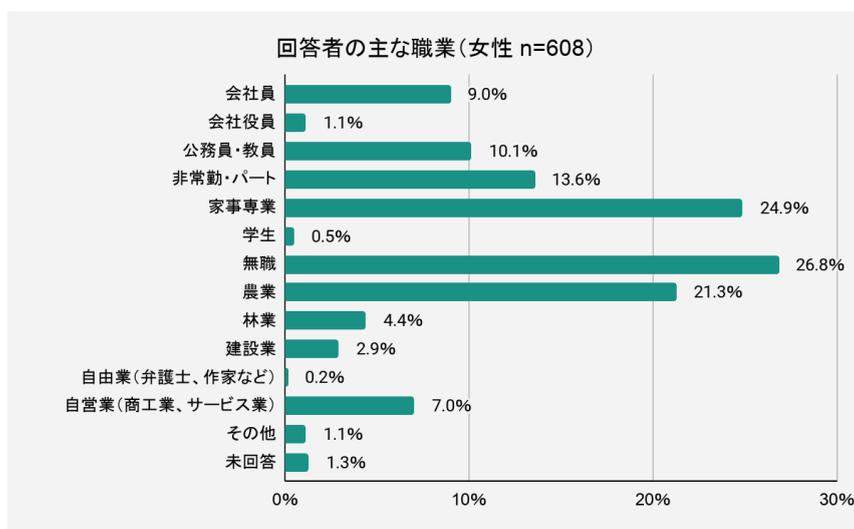
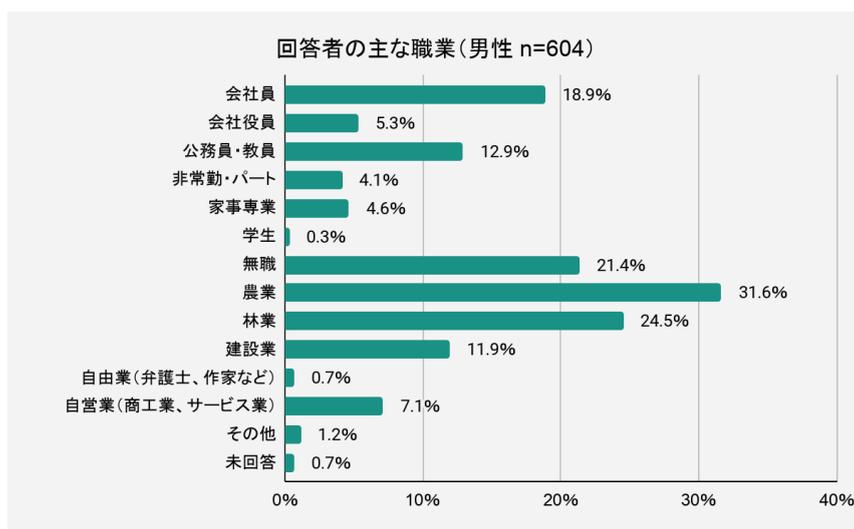
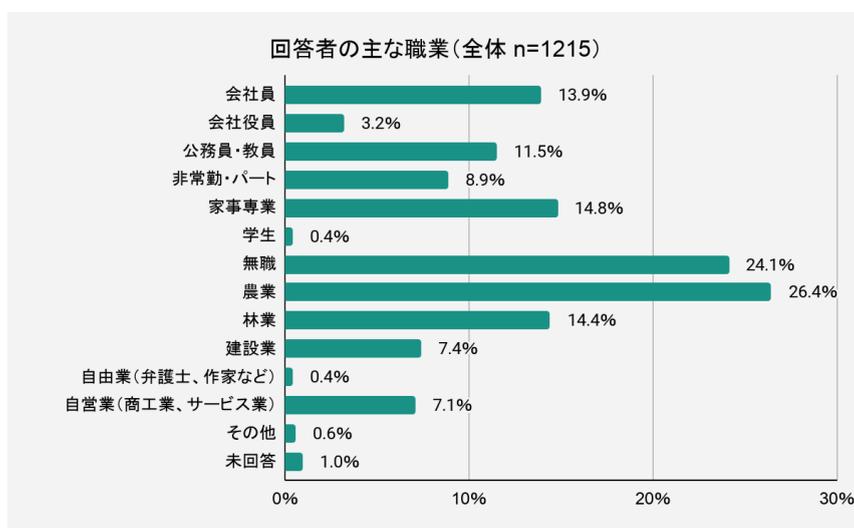
居住地区は上椎葉が最も多く、26.7%でした。次に多いのは松尾地区の18.3%でした。

地区	回答数	割合(%)
上椎葉	324	26.7
鹿野遊	94	7.7
仲塔	66	5.4
尾八重	37	3.0
尾向	131	10.8
不土野	61	5.0
梶尾	26	2.1
大河内	111	9.1
小崎	138	11.4
松尾	222	18.3
未回答	5	0.4
合計	1215	100.0



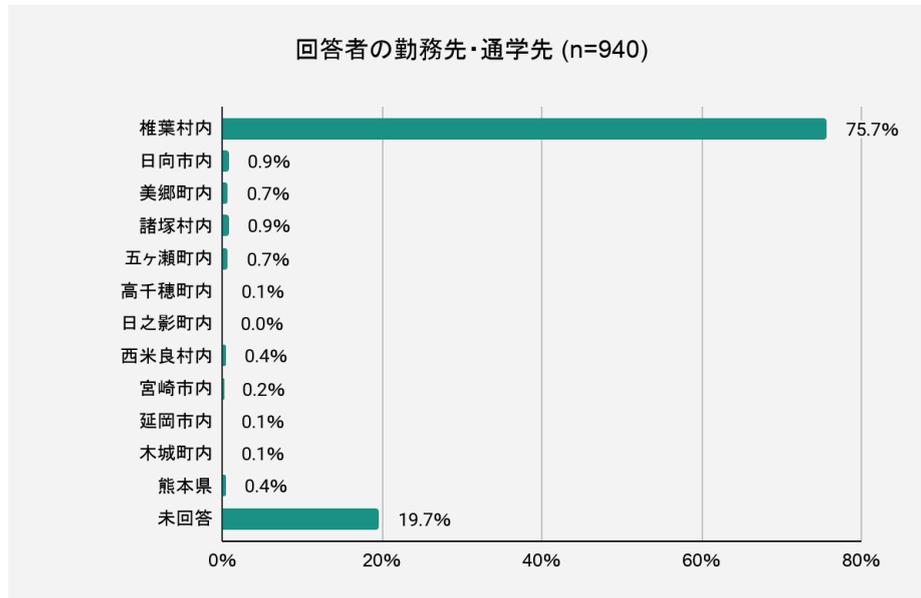
問4 あなたの主な職業はどれにあてはまりますか(複数回答可)。

全体についてみると、農業が最も多く26.4%、その次に多いのは無職で24.1%でした。



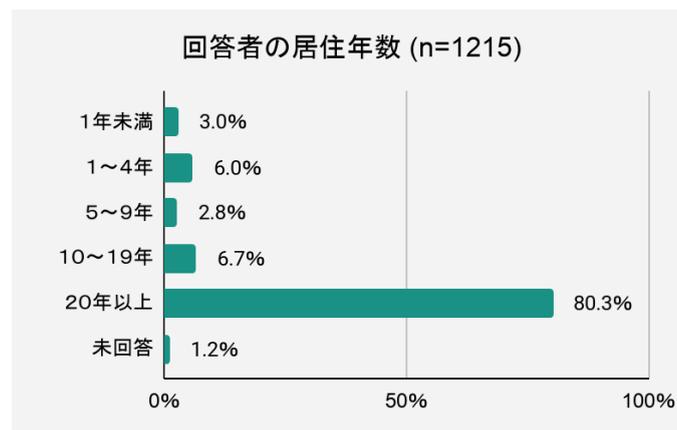
問5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。最もあてはまるものを教えてください。

「無職等により勤務先・通学先がない」という回答を除いて、椎葉村内で通勤・通学している方が75.7%、その他は近隣の市町村にそれぞれ少数の方が通勤・通学していることが分かりました。



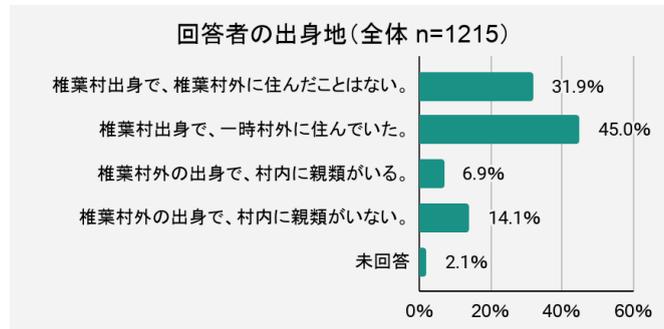
問6 あなたは椎葉村に何年くらい住んでいますか。

住民の80.3%が20年以上在住していることが分かりました。

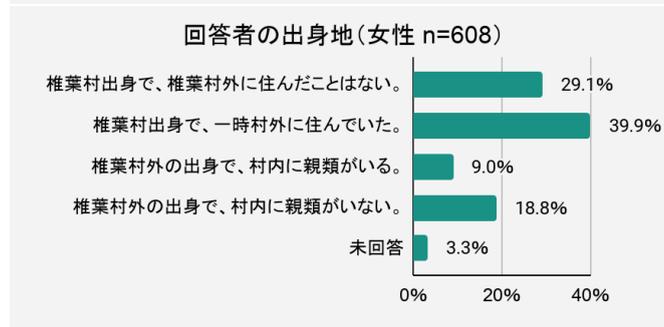
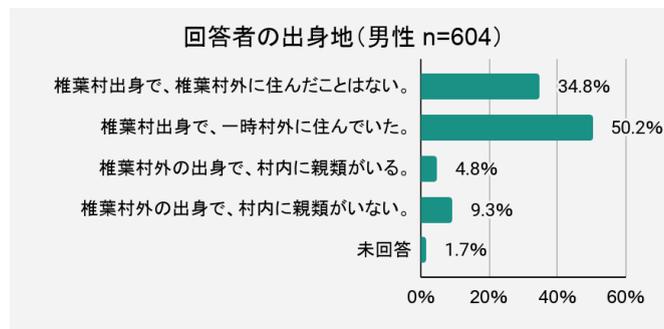


問7 あなたの出身地について、次のうちどれにあてはまりますか。

全体で見ると、椎葉村出身者が76.9%、村外出身者が21.0%いることが分かりました。

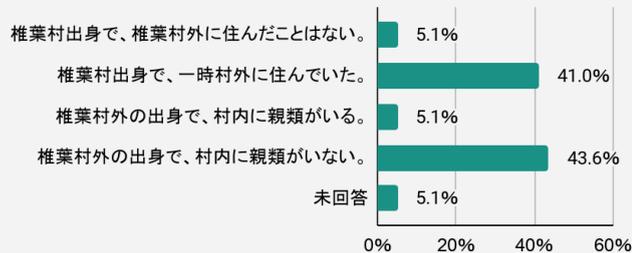


性別では、男性に比べて女性の村外出身者が約2倍いることが分かりました。

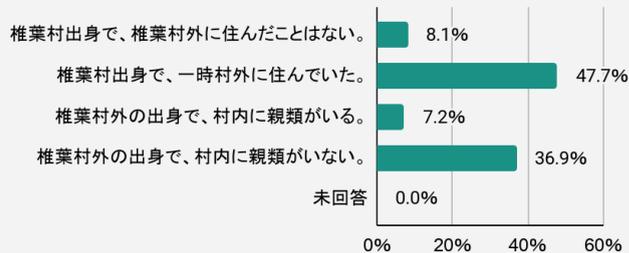


年代別にみると、若年層ほど椎葉村の出身者や村内に親類がいる割合が少なく、親類のいない村外出身者の割合が大きいことから、若年層を中心に外部からの移住者の割合が増加している傾向がみえます。反対に高齢になるほど椎葉村出身者の割合が大きくなり、特に80代以上では69.7%の方が椎葉村以外の地域に住んだことがないことが明らかになりました。

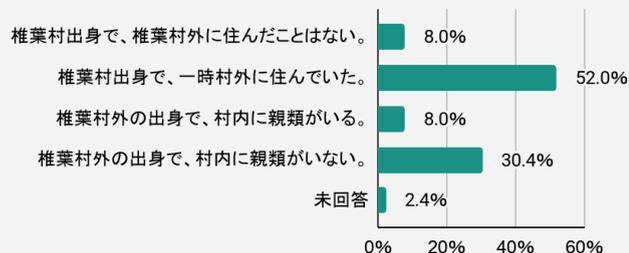
回答者の出身地 (10-20代 n=39)



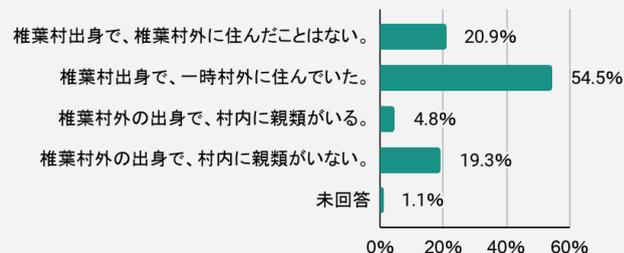
回答者の出身地 (30代 n=111)



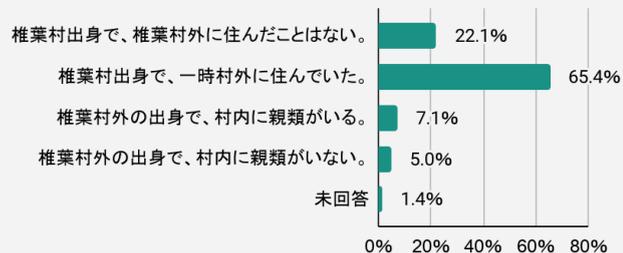
回答者の出身地 (40代 n=125)



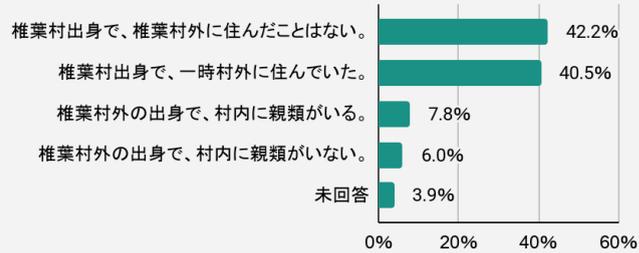
回答者の出身地 (50代 n=187)



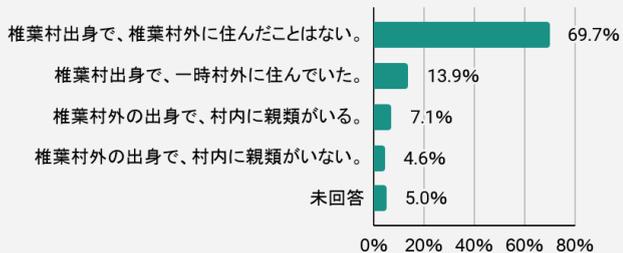
回答者の出身地 (60代 n=280)



回答者の出身地 (70代 n=232)



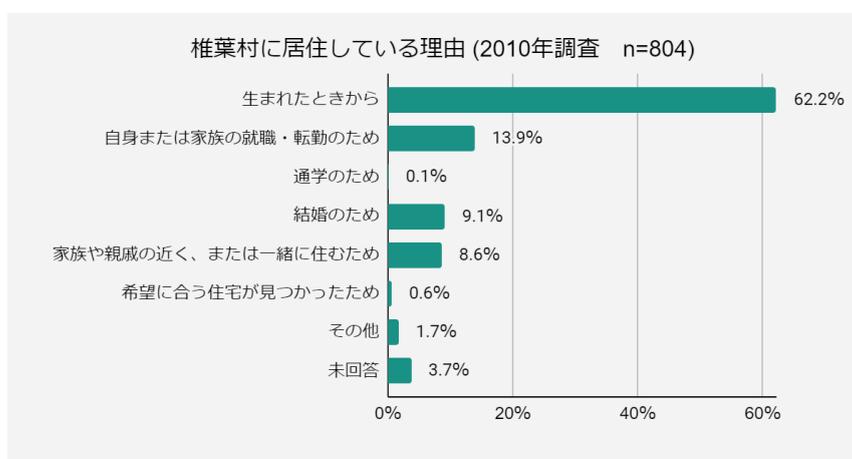
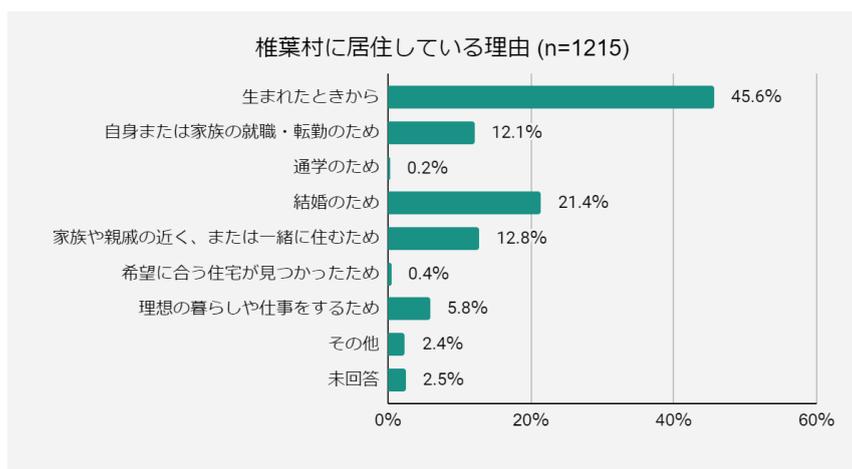
回答者の出身地 (80代以上 n=238)



問8 椎葉村に居住している理由は何ですか。最もあてはまるものを選んでください。

「生まれたときから」が最も多く、問7と合わせて村内出身者が多いことが伺えます。一方、地縁や血縁のない移住者であることを示す「希望に合う住宅が見つかったため」「理想の暮らしや仕事をするため」は合わせて6.2%でした。

2010年の調査と比較すると、「生まれたときから」と回答した方は前回の62.2%から45.6%に減少しています。また、「結婚のため」と回答した方は前回の9.1%から21.4%に上昇しています。このことから、移住や結婚等により椎葉村民となった方が増加傾向であることが分かりました。



その他の回答:

- 長男だから
- 農業をするため
- 家の跡継ぎ
- 生活しやすいから
- 就職が椎葉村だった
- 病気療養中のため
- 家・田畑・山林を後世に残したいため
- 椎葉村が好きだから など

問9 あなたは地域での生活環境について、どの程度満足していますか。また、これから村として重点的に取り組むべきだと思うものはどれですか。

次のすべての項目について、【現在の満足度】および【今後の重要度】に最もあてはまるものをそれぞれ一つずつ選んで、番号に○をつけてください。

①快適に住める村づくり		
住宅	1-1	安らげる心地よい住まいに住んでいる
生活環境	1-2	地域の景観は美しく保たれている
	1-3	ごみの減量化やリサイクルの推進、未利用資源の活用など、循環型社会に向けた推進がされている
	1-4	合併浄化槽の設置など、環境衛生対策が十分に整備されている
水道整備	1-5	安全でおいしい水を安定的に利用できている
安全安心	1-6	消防や災害予防整備、交通安全対策など、安全・安心のための体制が十分に整備されている
道路交通	1-7	村営バスやタクシーなど、交通網が十分に整備されている
	1-8	道路が十分に整備されている
情報通信網	1-9	携帯電話やインターネットを使用しやすい環境である
②いきいきと働ける村づくり		
農業	2-1	基盤整備の推進や後継者育成などにより、魅力ある農業が推進されている
	2-2	食育や地産地消の取り組みが推進されている
畜産業	2-3	経営基盤の強化などにより、魅力的な畜産業が推進されている
水産業	2-4	自然環境などに配慮した、魅力的な水産業が推進されている
商工業	2-5	魅力的な商店を利用できている
観光	2-6	地域資源を活かした観光振興により、村外との交流が活発に行われている
③生涯みんなで学び合える村づくり		
学校教育	3-1	生きる力を育む教育が推進されている
	3-2	学校と地域や家庭の協力体制が充実している
社会教育	3-3	生涯学習やスポーツ活動が盛んである
歴史文化	3-4	民俗芸能や文化財の活用により、村の振興や郷土愛の育成が推進されている
国際交流	3-5	外国人との交流や、外国人が安心して生活できる環境整備が推進されている

④健やかで笑顔あふれる村づくり		
地域福祉	4-1	地域福祉が充実しており、誰もが安全・安心に暮らせる環境が十分に整っている
高齢者福祉	4-2	高齢者が安心していきいきと暮らせる環境が十分に整っている
障がい者福祉	4-3	障がい者が安心していきいきと暮らせる環境が十分に整っている
子育て支援	4-4	村全体で子育てを支え、安心して子どもを育てる環境が十分に整っている
医療	4-5	病院や医療体制が十分に整っている
⑤未来へ共に歩める村づくり		
互助精神の醸成	5-1	集落支援や移住・定住の促進などにより、かてーりの精神の継承や醸成が推進されている
村民と行政の協働	5-2	広報の充実や意見交換などにより、村民と行政が一体となった村づくりが推進されている
男女共同参画	5-3	性別に関係なく能力や個性を発揮できる機会や環境が十分に整っている

以上の項目は、前回の総合計画である椎葉村第5期長期総合計画で定められた行政の施策に基づいています。これに対する住民の満足度および重要度を次ページからのグラフで記します。



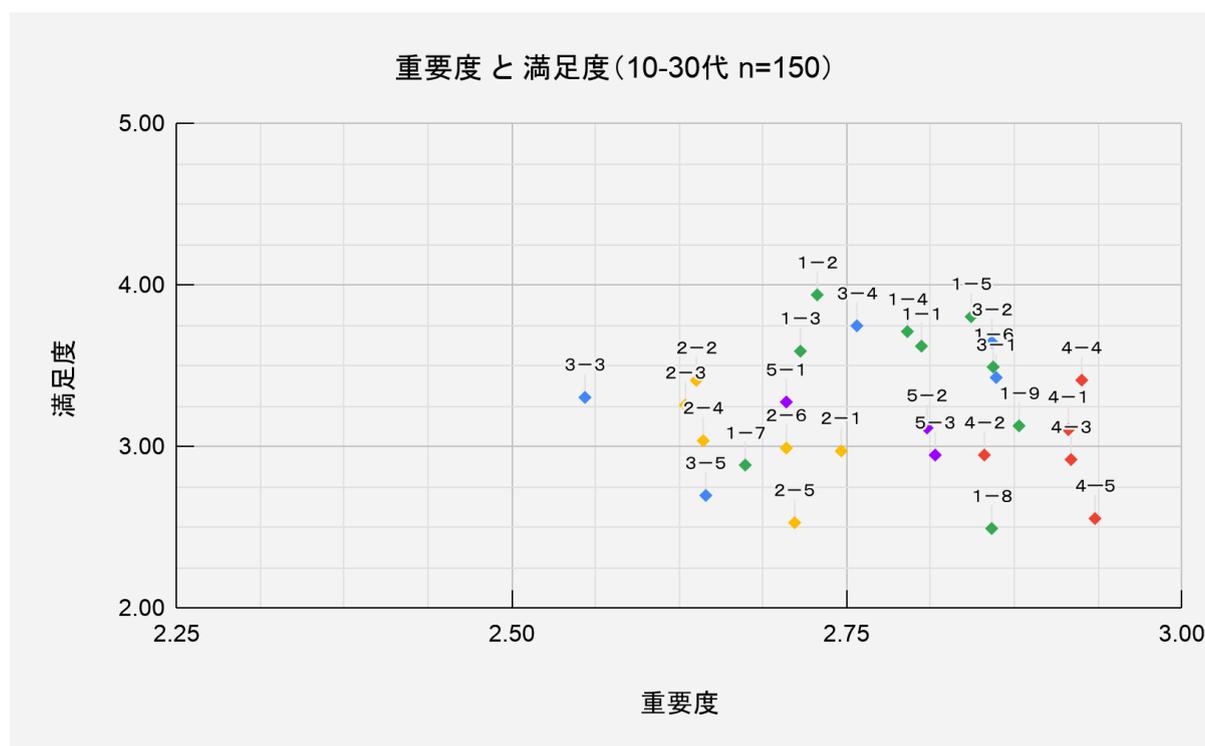
- 個別にみると、重要度が高いが満足度が低い、すなわち重点的に取り組むべき点として、
- 1-6 消防や災害予防整備、交通安全対策など、安全・安心のための体制が十分に整備されている
  - 1-8 道路が十分に整備されている
  - 4-1 地域福祉が充実しており、誰もが安全・安心に暮らせる環境が十分に整っている
  - 4-2 高齢者が安心していきいきと暮らせる環境が十分に整っている
  - 4-3 障害者が安心していきいきと暮らせる環境が十分に整っている
  - 4-4 村全体で子育てを支え、安心して子どもを育てる環境が十分に整っている
  - 4-5 病院や医療体制が十分に整っている

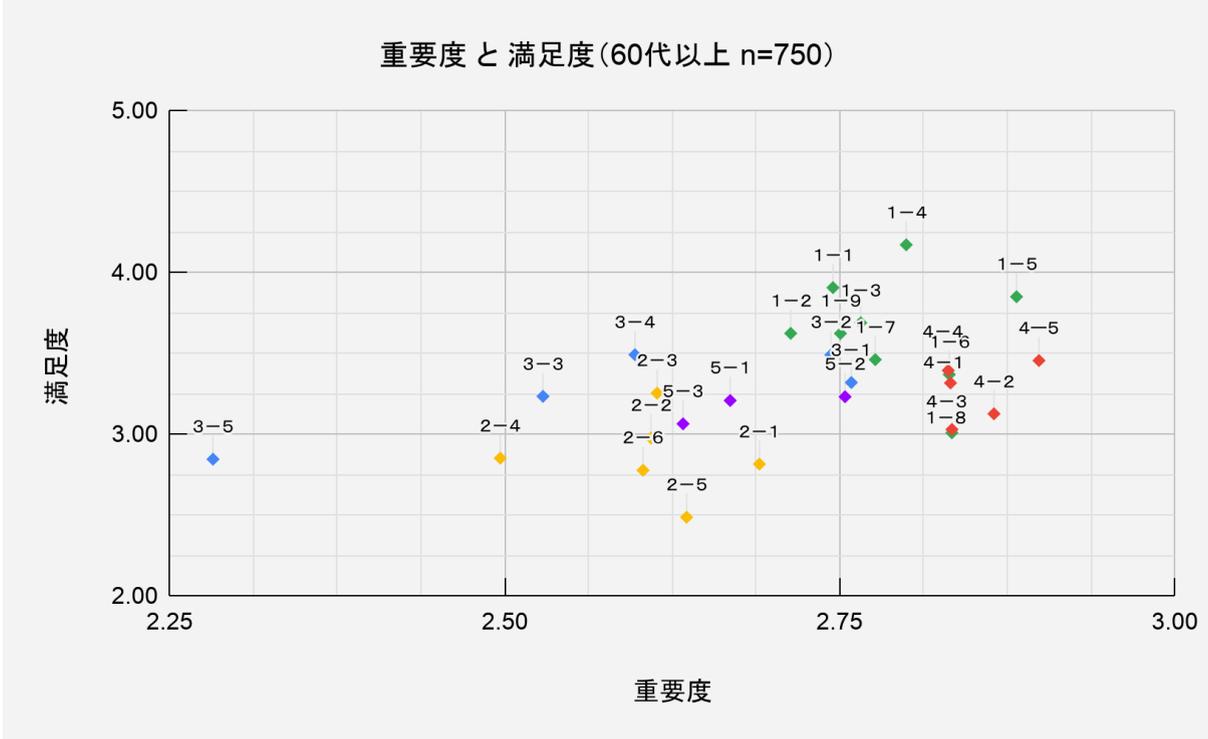
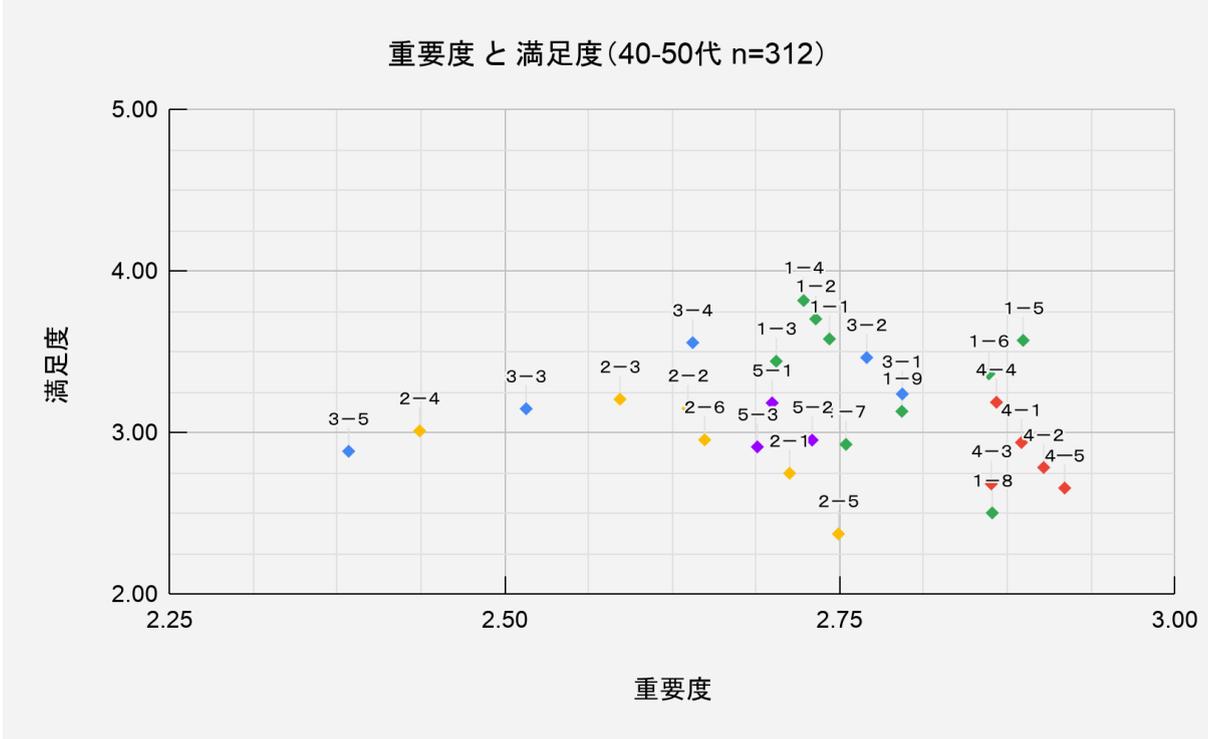
以上が挙げられます。

次に、年代別(10-30代、40-50代、60代以上)のグラフを示します。年代ごとに比較すると、いくつかの点で年代によるバラつきがあることが分かります。

たとえば、「3-5 外国人との交流や、外国人が安心して生活できる環境整備が推進されている」については、若い層ほど重要度が高く、年代が上がるほど重要度が低下しています。

また、「4-5 病院や医療体制が十分に整っている」については、若い世代ほど満足度が低く、年代が上がるほど満足度が高くなっています。高齢者向けの医療体制が整備されているのに対して、若い世代、特に子どもの医療については医療体制が充分でないと住民が感じていることが伺えます。

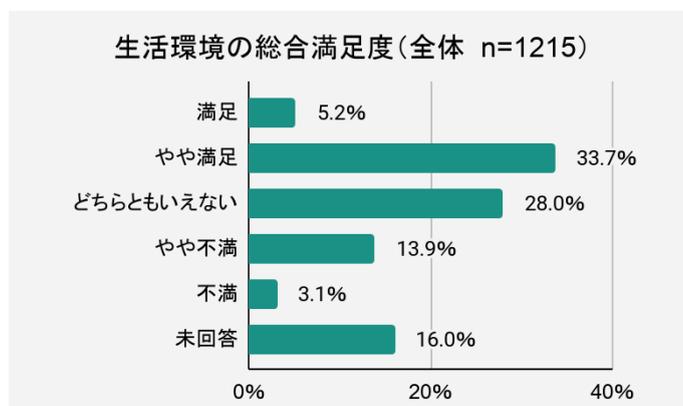




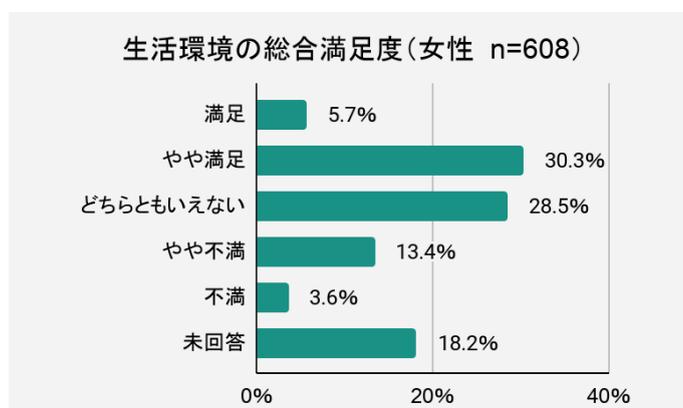
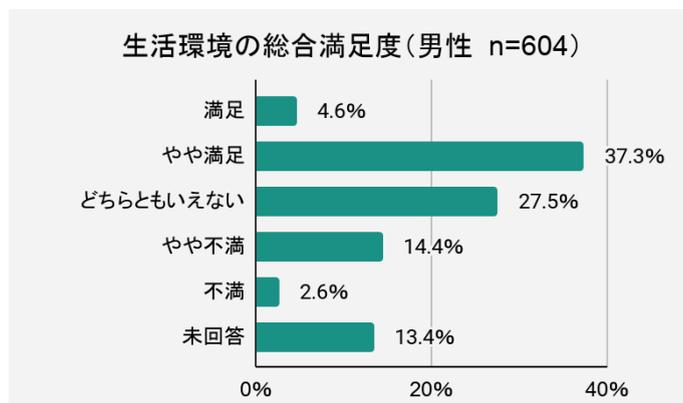
- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ①快適に住める村づくり (インフラ)</li> <li>◆ ②いきいきと働ける村づくり (産業)</li> <li>◆ ③生涯みんなで学び会える村づくり (教育・文化)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ④健やかで笑顔あふれる村づくり (健康・福祉)</li> <li>◆ ⑤未来へ共に歩める村づくり (互助・協働・男女)</li> </ul> |
|--|---|

問10 問9をふまえて、椎葉村の生活環境を総合的に評価すると次のどれに当てはまりますか。

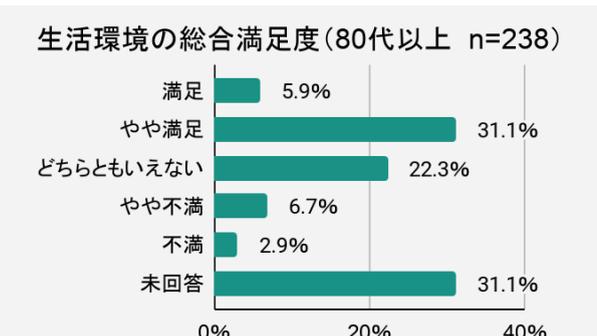
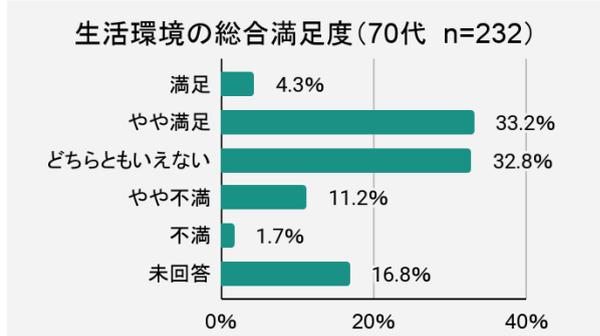
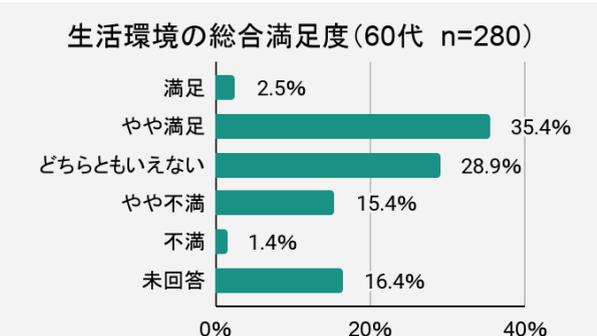
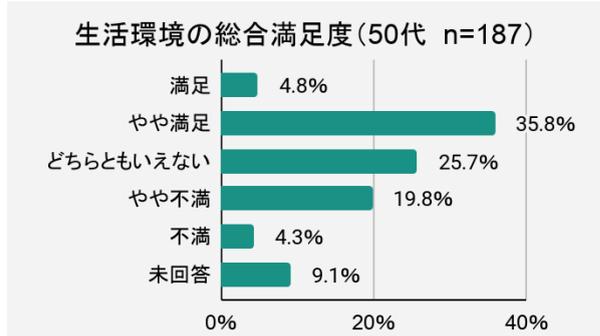
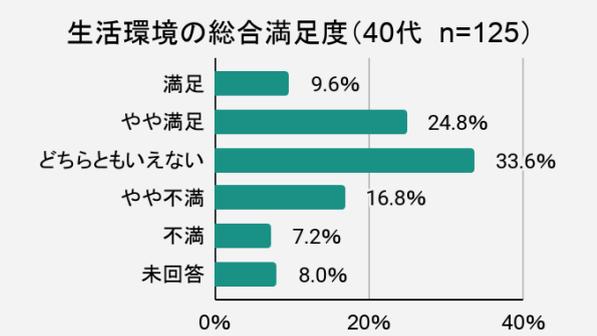
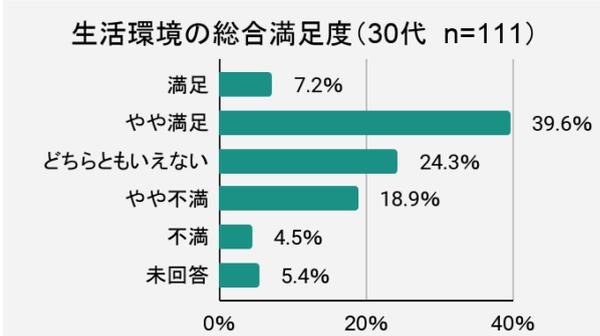
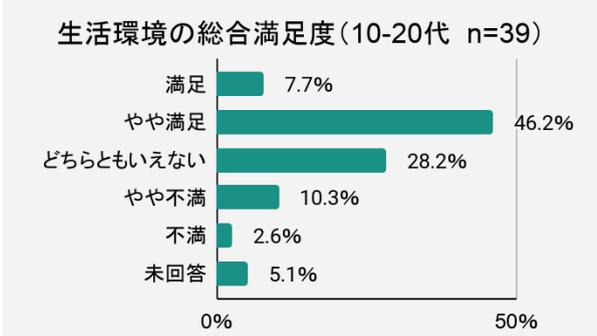
全体をみると、「満足」「やや満足」合わせて38.9%の住民が満足感を感じており、一方で「やや不満」「不満」は合わせて17%となりました。このことから、生活環境については満足感を感じている住民の方の方が多いが、改善の余地もあることが伺えます。



性別でみると、女性よりも男性の方が「やや満足」の割合が7.0%高く、暮らしの満足度は男性の方が高い傾向にあるといえます。



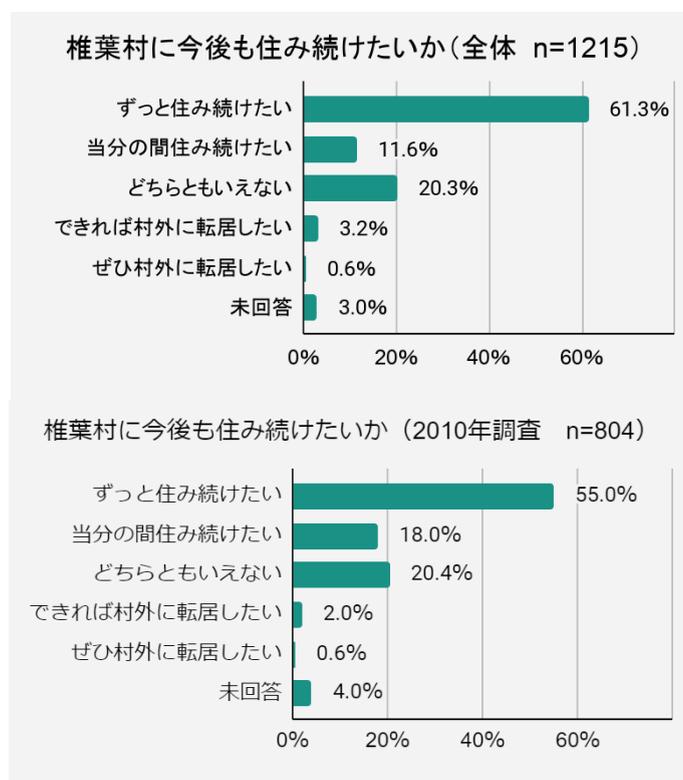
年代別でみると、若年層ほど「満足」「やや満足」の割合が高い傾向がみられます。また、40代は「満足」が最も高い一方で「やや満足」が最も低く、暮らしの満足度において40代ではっきりした違いが出るのが伺えます。



問11 あなたは、椎葉村に今後も住み続けたいと思いますか。また、その理由についてお答えください。

全体をみると、「ずっと住みたい」が61.3%と最も多く、「当分の間住みたい」と合わせて椎葉村に住み続けることに肯定的な住民が72%以上いることが分かりました。一方、転居したいという意見も少数ながらあることが分かりました。

2010年の調査と比較すると、「ずっと住みたい」は55.0%から61.3%に上昇しており、「当分の間住みたい」は18.0%から11.6%に減少しています。



「ずっと住みたい」理由:

- 椎葉ほど良い所は無い!
- 高齢者で村外に転居しても環境に順応できないと思う
- 自然に囲まれている
- 歴史ある椎葉村を守っていきたいです
- 他に住むところがない
- 椎葉で最後(死)を迎えたい
- 子どもたちの帰ってくる家だから
- 実家、持家があるから
- 便利は悪いがとても住みやすい
- 住み慣れた所が一番いいから
- 生まれたところで、安心できるから など

「当分の間住み続けたい」理由:

- ずっと住み続けたいが、村外に住む親の介護などで転居の可能性はある
- 次の転勤までは住み続けたい
- 自立した生活ができる間は住み続けたい
- 高齢になったら無理かもしれない
- 子どもの進学に不安有り
- 親の介護が終わるまでは住む
- 年をとると、病院、買い物、日常生活に不安を感じる
- 自力で生活できる間は住み続けたいが、あとは子供の意見に従う。周囲もかなり高齢化しているので、地域が弱くなっている
- ずっと住み続けたいけど、夫がいなくなったら今の暮らしはしていけない
- 高齢化、少子化がこれ以上進んだら、生活が難しくなると思うから。だんだん椎葉の魅力がなくなってきたから など

「どちらともいえない」理由:

- 村での生活は快適だが、仕事の関係上住み続けられない
- とても素敵な環境だが、もう少し医療体制が整ってくれるといい。命にはかえられないのでやはり考えてしまう
- 働く場所がない
- 仕事上転居しなければならないため
- 老後、車の免許がなくなったときの生活が不安
- しんどいことが多い。村外から椎葉へ嫁くるといろいろ我慢しないといけないことがあったり、ギャップがあったり など

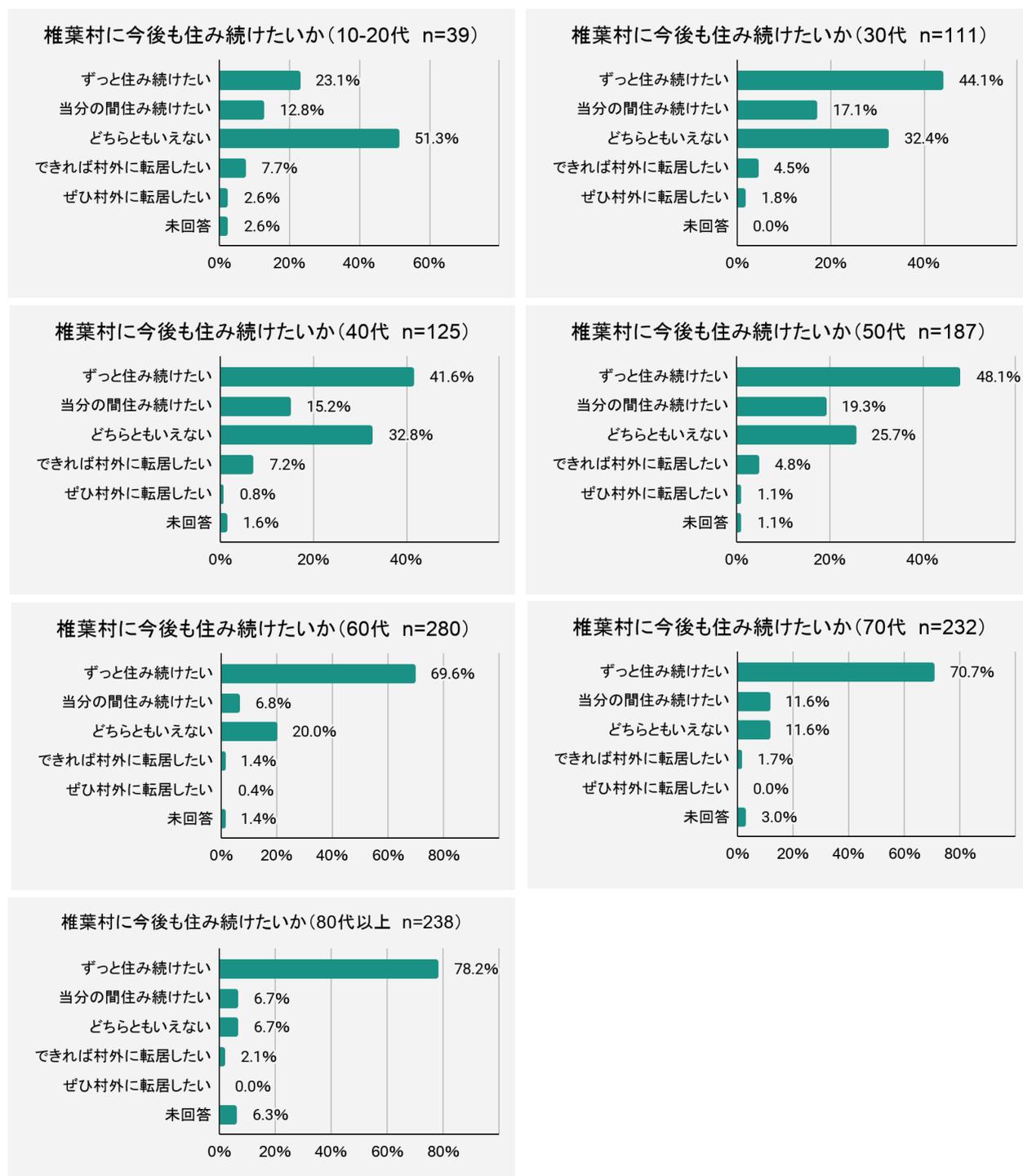
「できれば村外に転居したい」理由:

- 必要以上の干渉を重く感じる。地区、地域の常識に必要以上に支配される。考えを潰して合わさざるを得ないか事がある。
- 老後に歩いて買い物、病院、交通が便利な所に住みたいから
- 住居の不足。道路交通面の不安(ガードレールが無い等の危険性)
- 子供が村外で結婚しているため
- 病院が遠い。役場等中心部まで時間がかかる。(道路網が悪い)
- 水不足
- 将来椎葉村の人口が減って住みにくならないか本当に心配(老後)
- 子育てしていて生きにくさを感じる。様々な行事、そのたびに長時間拘束される。近隣者との適度な距離感が難しい。多様性に欠ける。若い人が年長者に意見しない(できない?)。女性の地位が低いなど

「ぜひ村外に転居したい」理由:

- 村外に自宅を保有している
- 福祉が充実していないため
- 仕事の都合
- 宅地がない など

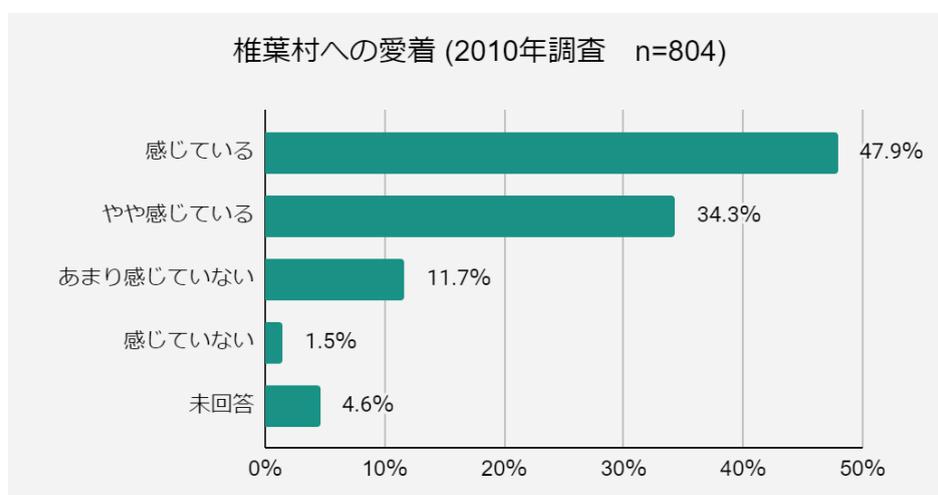
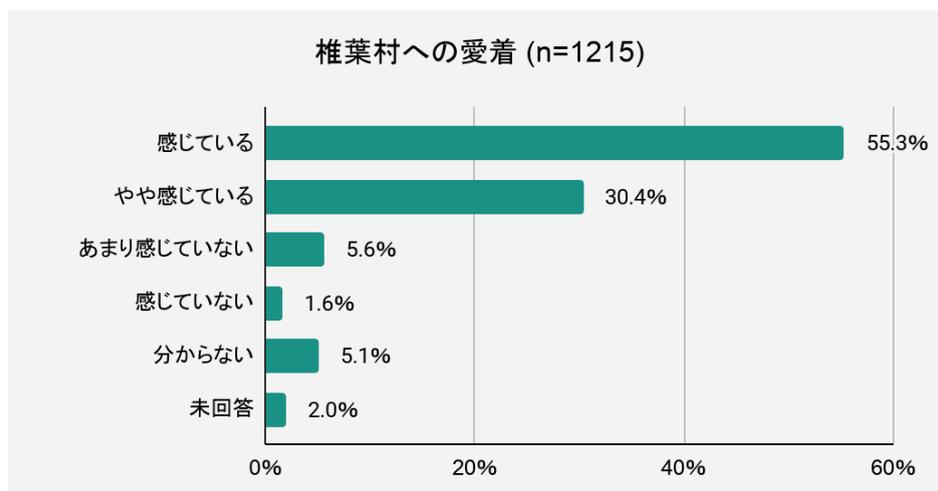
年代別にみると、年齢が高いほど「ずっと住み続けたい」の割合が高く、特に60代以上から高くなっており、反対に10-20代では極端に低くなっています。一方、「どちらともいえない」は10-20代で51.3%で、年代が上がるほど割合は下がっていき、80代以上では6.7%まで下がっています。このことから、若い人ほど「転居したい」まではいかずとも、椎葉村に住み続けることに対して完全に肯定的ではないことが伺えます。



問12 あなたは、椎葉村に愛着を感じていますか。

「感じている」と「やや感じている」を合わせて85.7%と、ほとんどの住民が椎葉村に愛着を感じていることが分かりました。一方で、「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた割合は7.2%でした。

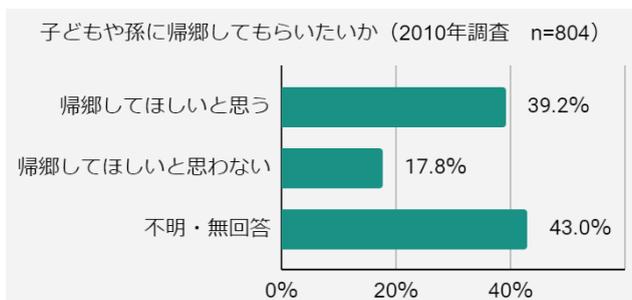
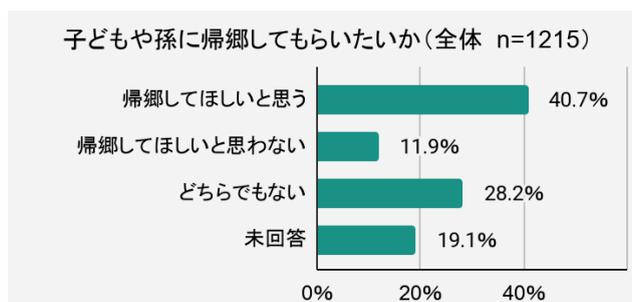
2010年の調査と比較すると、「感じている」が47.9%から55.3%へ上昇しており、「やや感じている」は34.3%から30.4%へと減少、また「あまり感じていない」は11.7%から5.6%へと減少しています。「やや感じている」が減少している以外は、全体的により愛着を感じるようになっていると考えられます。



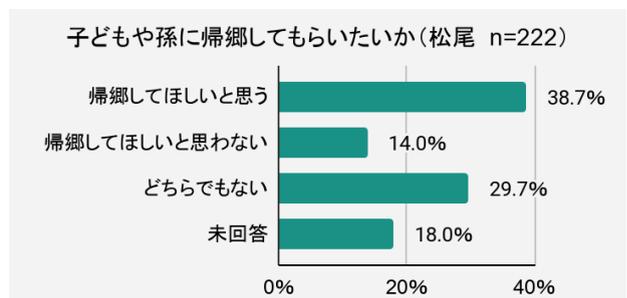
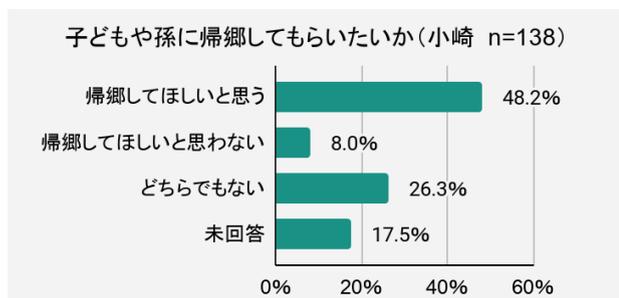
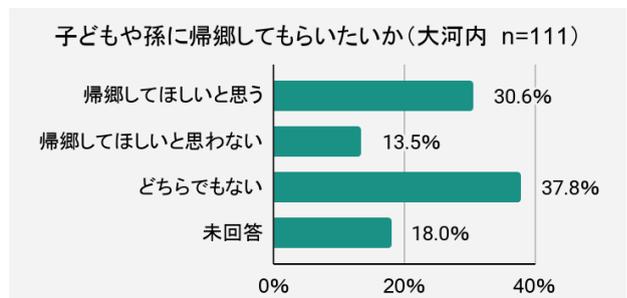
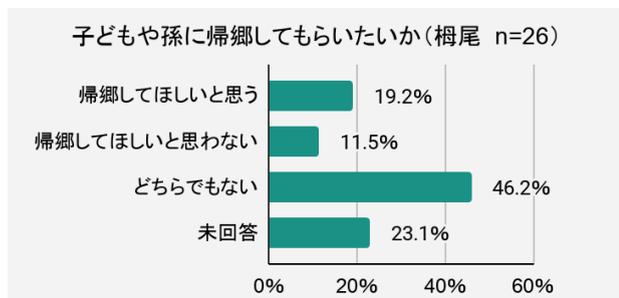
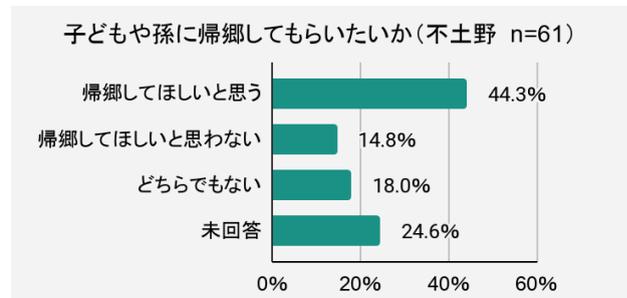
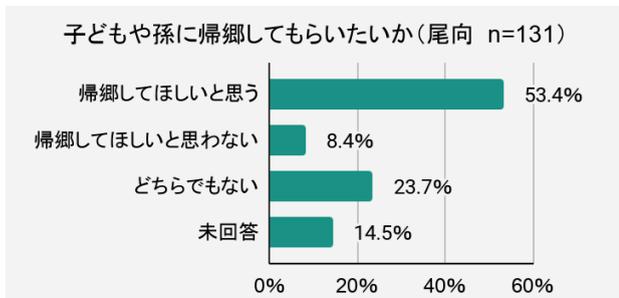
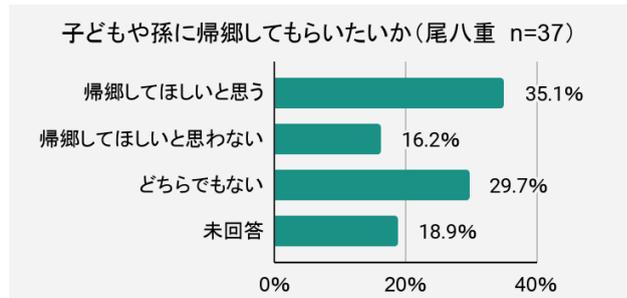
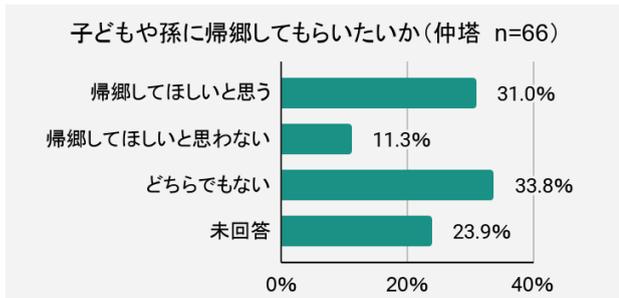
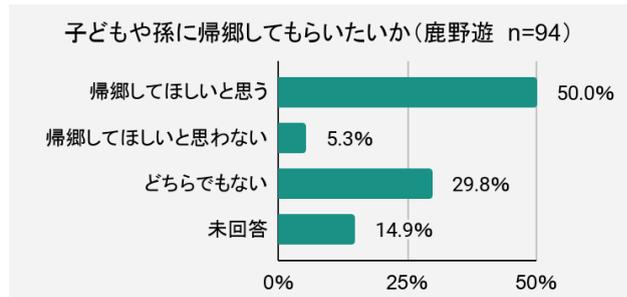
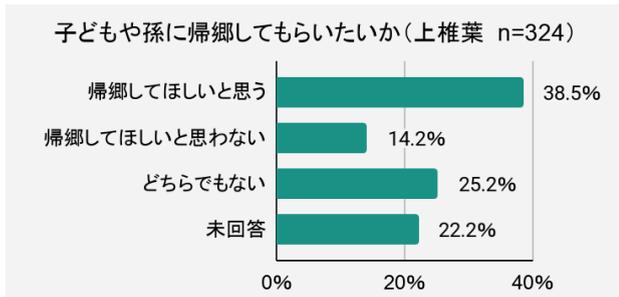
問13 子どもや孫がいる方にお尋ねします。子どもや孫に帰郷してもらいたいと思いますか。

全体をみると、「帰郷してほしい」という意見の住民が40.7%いる一方、「帰郷してほしいと思わない」「どちらでもない」という意見の住民を合わせると40.1%となり、帰郷に関して肯定的な意見とそれ以外の意見が同程度存在することが分かりました。

2010年の調査と比較すると、「帰郷してほしいと思う」の割合はほとんど変わりませんが、「帰郷してほしいと思わない」は17.8%から11.9%と減少しており、否定的な意見が減少していることが分かりました。

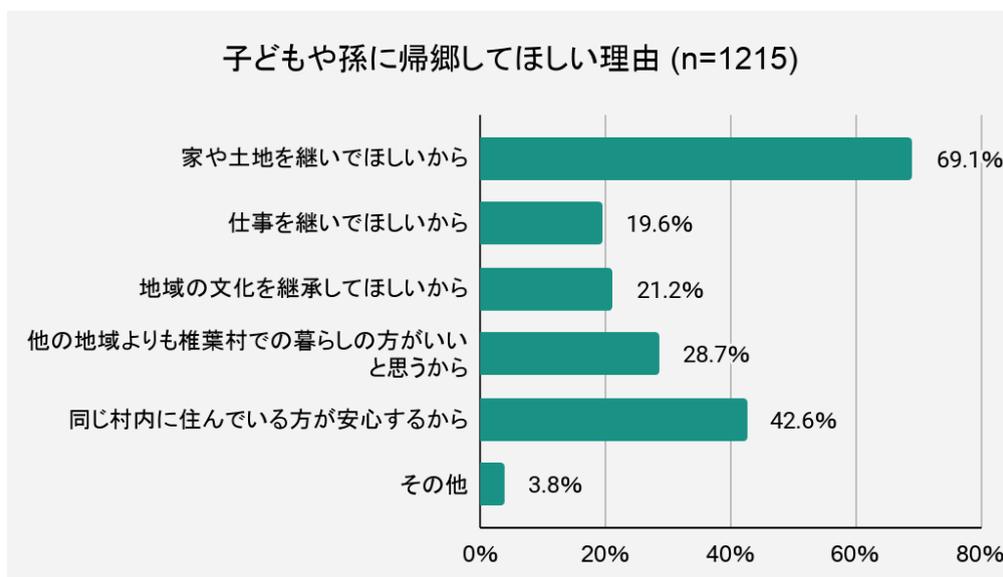


地区ごとにみると差がみられます。「帰郷してほしい」は尾向地区が最も高く53.4%で、最も低いのは柵尾地区の19.2%でした。また、「帰郷してほしいと思わない」は鹿野遊地区が最も低く5.3%で、最も高いのは尾八重地区の16.2%でした。



問14 問13で【1 帰郷してほしいと思う】を選んだ方にお聞きます。その理由について、次のうち当てはまるものを選んでください(複数回答可)。

「家や土地を継いでほしいから」が最も多く、69.1%となりました。また、次に多かったのは「同じ村内に住んでいる方が安心するから」で42.6%でした。

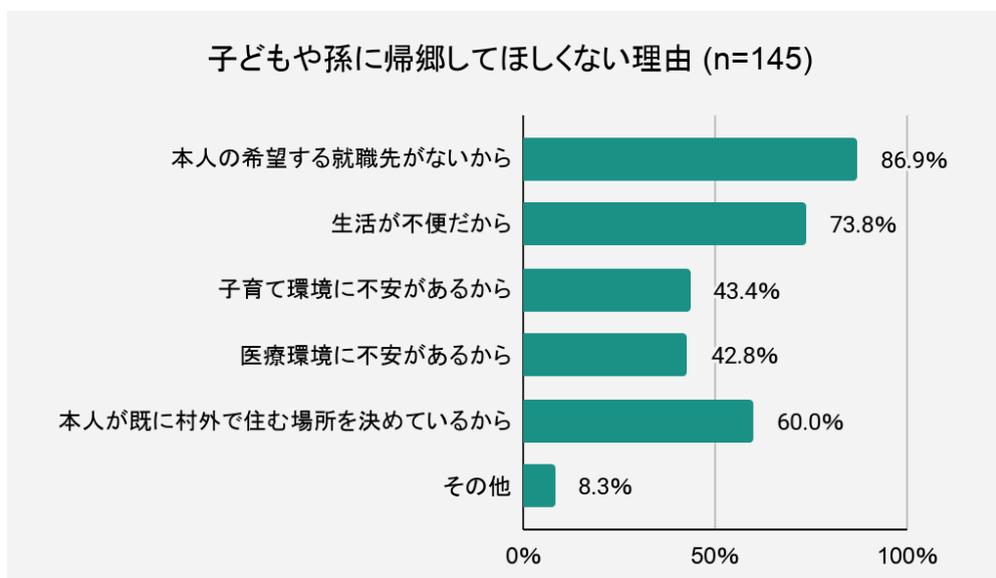


その他の理由:

- 椎葉存続のため、四季を感じながらの子育ては素晴らしいものだから
- 地元を愛する子どもに育ててほしいから。椎葉村を好きになってほしいから
- 村が発展するから
- 今は仕事の事もあるから帰らなくてもいいけど、退職してからもいいので帰らなくてもいいから、時々様子を見てほしいので家を見守ってほしい など

問15 問13で【2 帰郷してほしいと思わない】を選んだ方にお聞きします。その理由について、次のうち当てはまるものを選んでください(複数回答可)。

「本人の希望する就職先がないから」が86.9%と最も多く、次に多かったのは「生活が不便だから」で73.8%でした。子どもや孫の居住先として、本人たちの希望する仕事や生活を尊重していることが伺えました。



その他の理由:

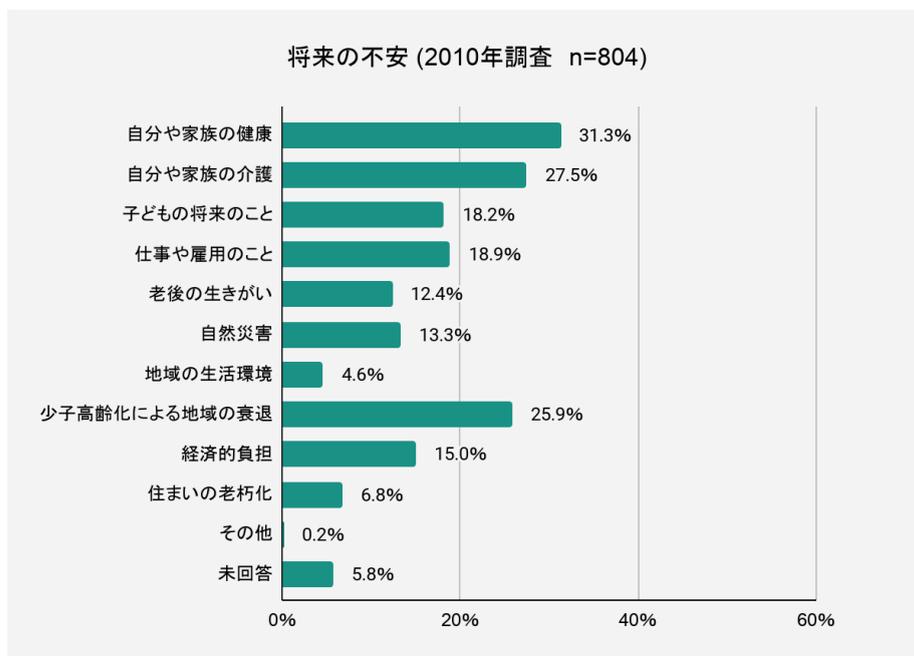
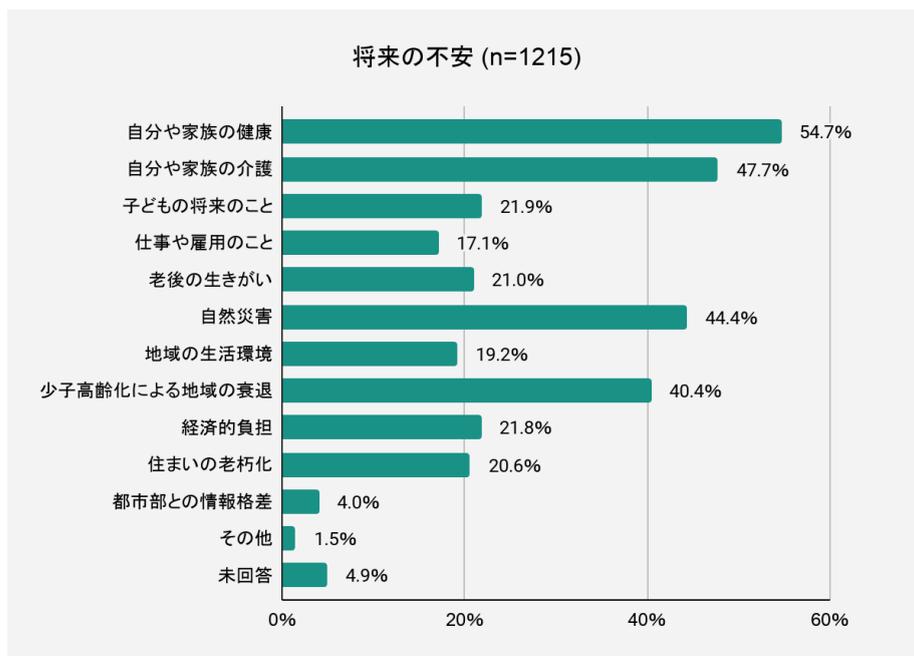
- 本人のしたい事をして欲しい
- 自分のことは自分で決めるべきことだと思うから。親があればこれ言う問題ではない。
- 帰郷するしないは、本人が決めること など

問16 あなたは将来に対してどんなことが不安ですか(複数回答可)。

「自分や家族の健康」「自分や家族の介護」「自然災害」といった意見が多く挙げられました。健康や介護、災害といった安心安全に関することへの不安が伺えます。

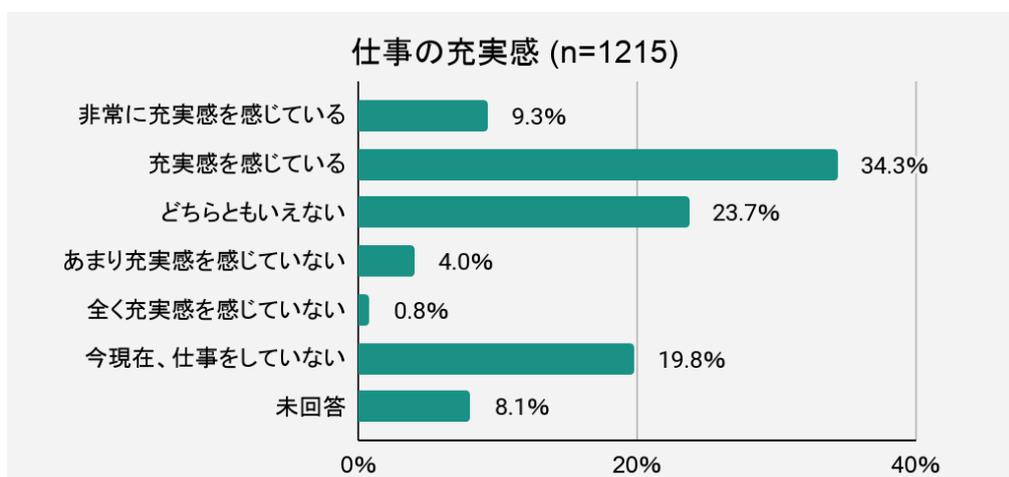
また、「少子高齢化による地域の衰退」も多く挙げられたことから、本村の人口動態について住民の関心が高いことが伺えます。

2010年の調査と比較すると、多くの項目で不安と感じる割合が増加していることが分かりました。



問17 仕事について伺います。あなたは、今の仕事に充実感を感じていますか。

「非常に充実感を感じている」「充実感を感じている」合わせて43.6%であり、仕事に充実感を感じている人は4割程度であることが伺えます。また、「あまり充実感を感じていない」「全く充実感を感じていない」を合わせると4.8%となりました。

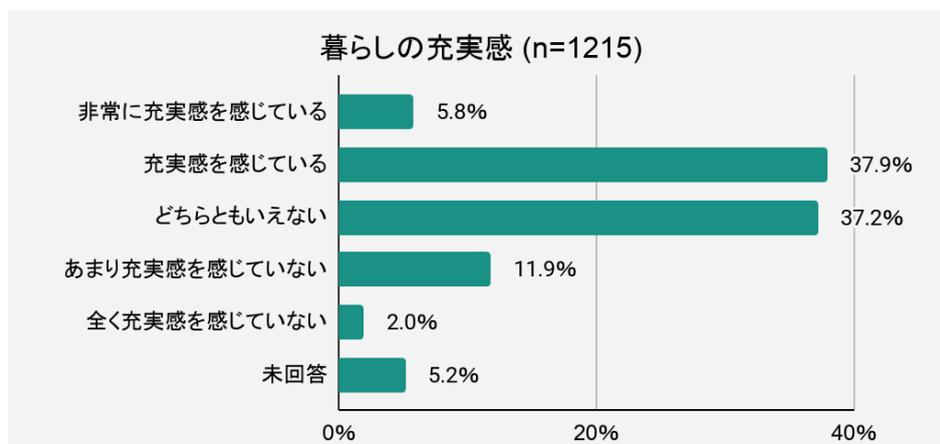


問18 仕事以外の暮らしの面について伺います。あなたは、今の暮らしについて充実感を感じていますか。

「非常に充実感を感じている」「充実感を感じている」合わせて43.7%であり、仕事の場合とほぼ同じ数字になりました。

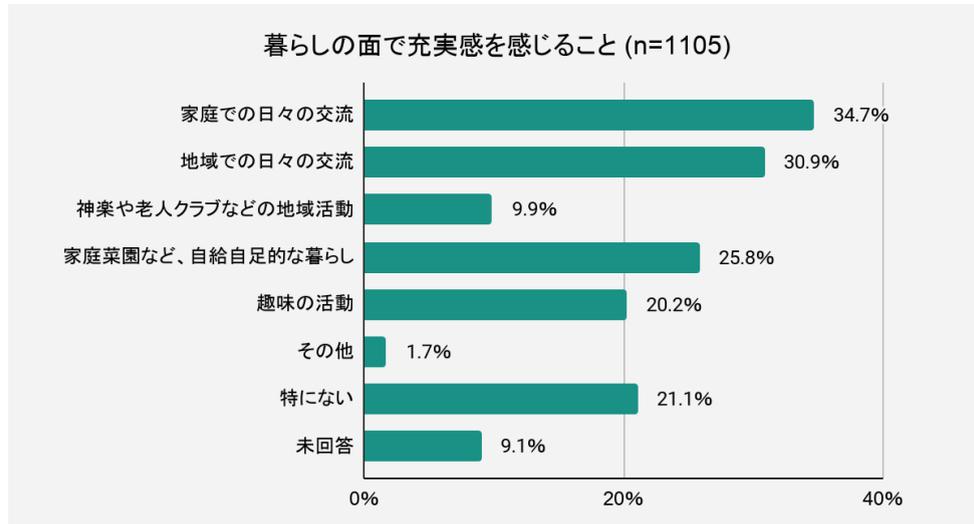
一方、「どちらともいえない」「あまり充実感を感じていない」「全く充実感を感じていない」は仕事の場合よりも数字が大きくなりました。

このことから、住民は仕事よりも暮らしの側面において充実感を感じにくい傾向にあるといえます。



問19 暮らしの面について、具体的にどんなことに充実感を感じていますか(複数回答可)。

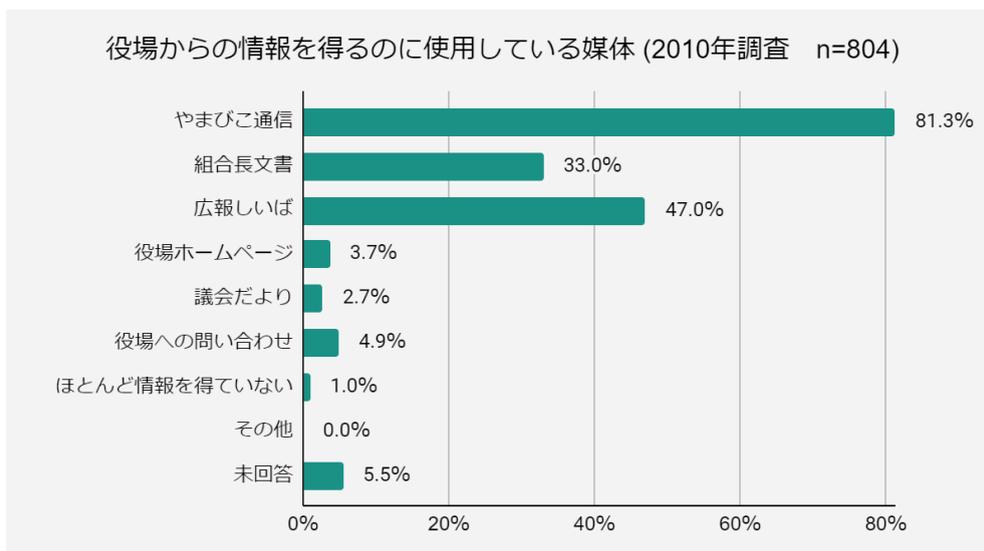
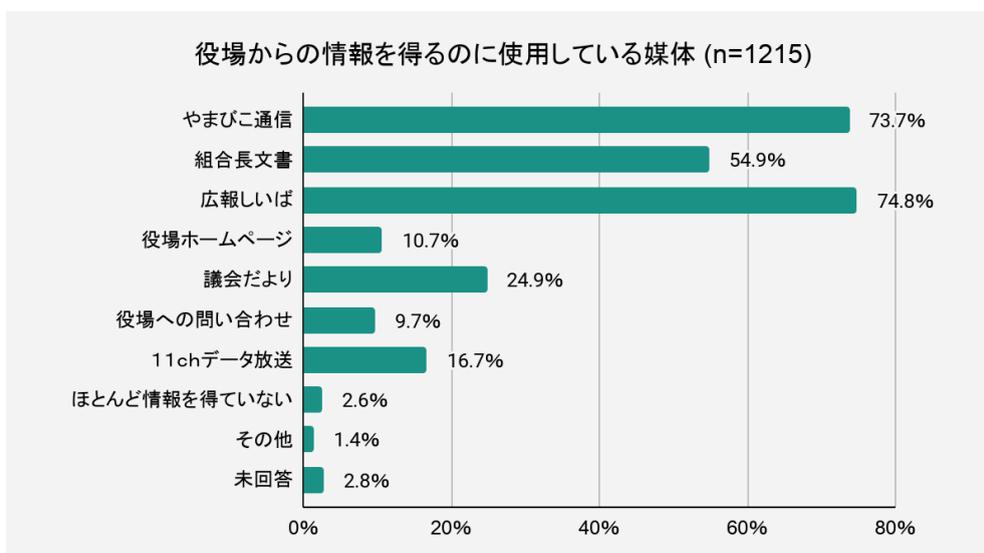
「家庭での日々の交流」が最も多く、次に多かったのは「地域での日々の交流」、その次は「家庭菜園など、自給自足的な暮らし」でした。



問20 役場からの情報発信について伺います。あなたが役場からの情報を得ているものは主に何ですか(複数回答可)。

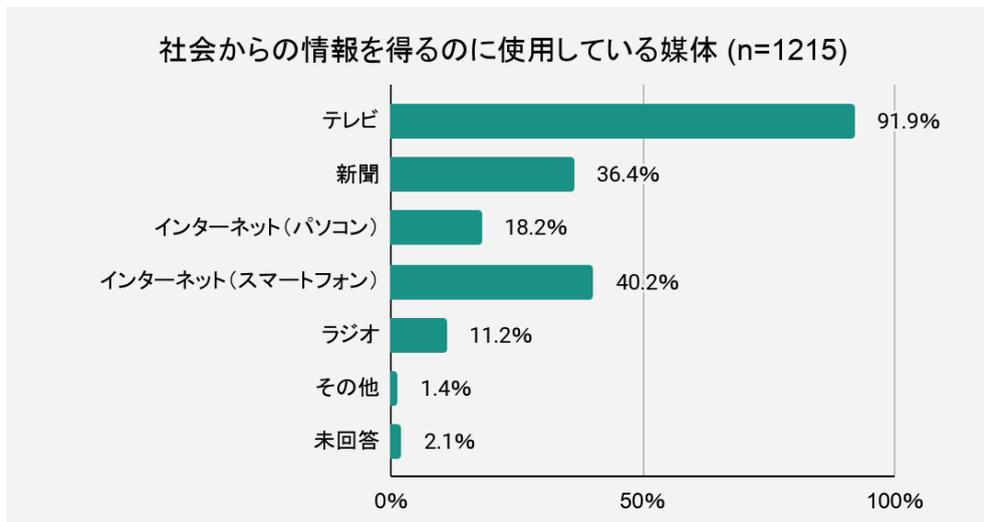
「広報しいば」が74.8%、「やまびこ通信」が73.7%と最も多く、次に多かったのは「組合長文書」で54.9%でした。この他の媒体は30%以下と大きな開きがあったことから、これら3つが住民にとっての大切な情報源となっていることが伺えます。

2010年の調査と比較すると、「やまびこ通信」の割合が少し低下している一方で「組合長文書」「広報しいば」「役場ホームページ」「議会だより」の割合が上昇しており、また「11chデータ放送」という新たな媒体もできていることから、情報源が多様化していることが伺えます。

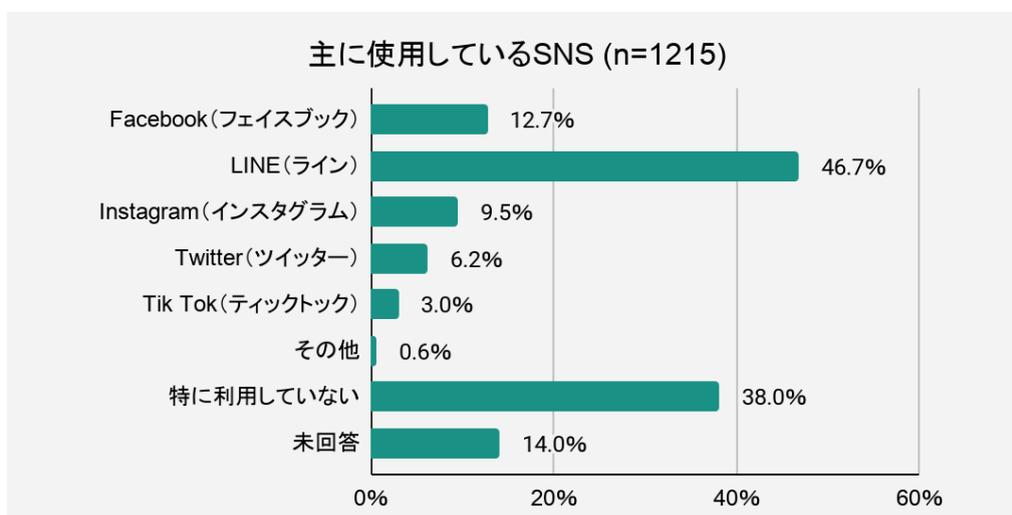


問21 あなたは普段、どのように社会の情報を得ていますか(複数回答可)。

テレビが圧倒的に多く、91.9%の住民が利用していることが分かりました。また、次に多かったのはインターネット(スマートフォン)で40.2%でした。

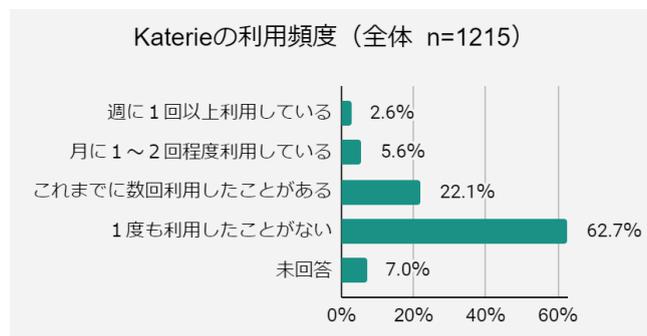


問22 あなたが主に使っているSNS(ソーシャルネットワークサービス)は何ですか(複数回答可)。



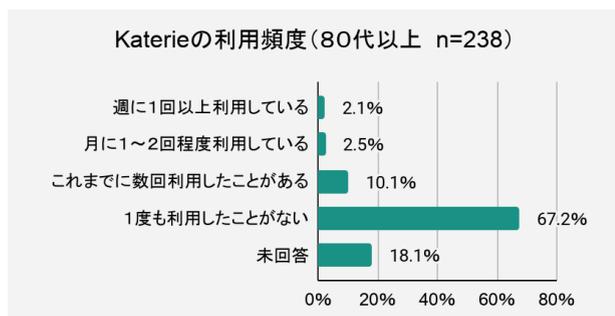
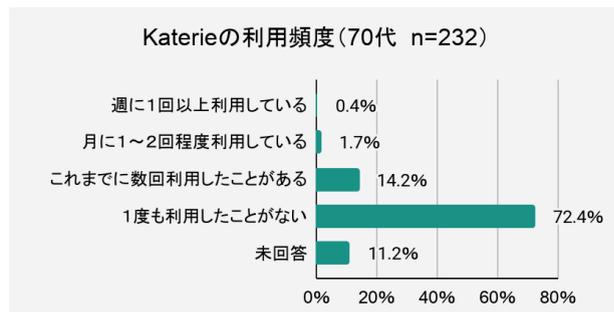
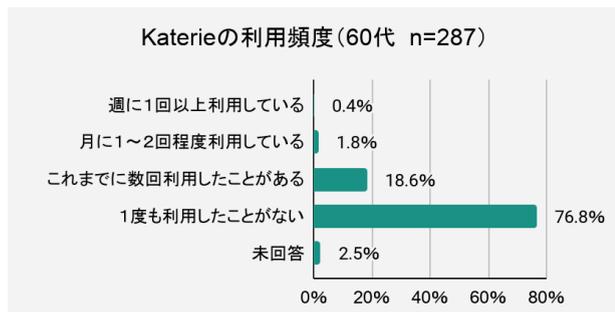
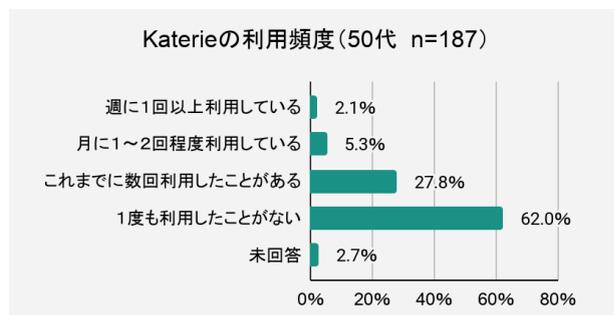
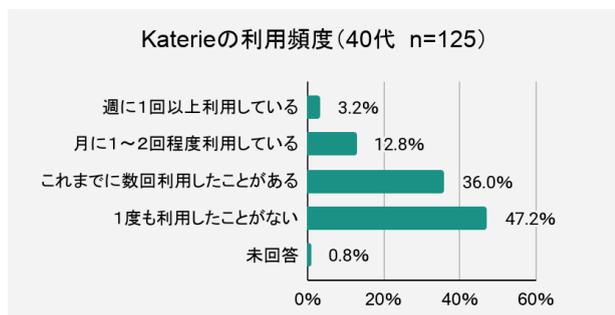
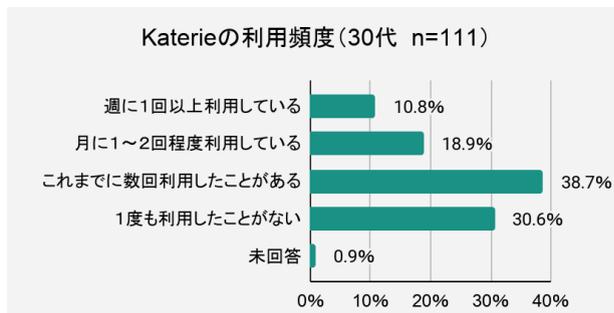
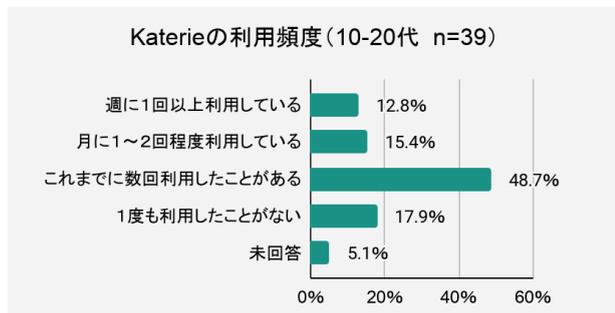
LINE(ライン)が最も多く46.7%であり、他のサービスが10%前後であるのに対して大きな開きがありました。一方、特にSNSを利用していない住民が38.0%でした。

問23 椎葉村交流拠点施設Katerie(かてりえ)について、あなたはどれぐらいの頻度で利用していますか。最もあてはまるものに○をつけてください。

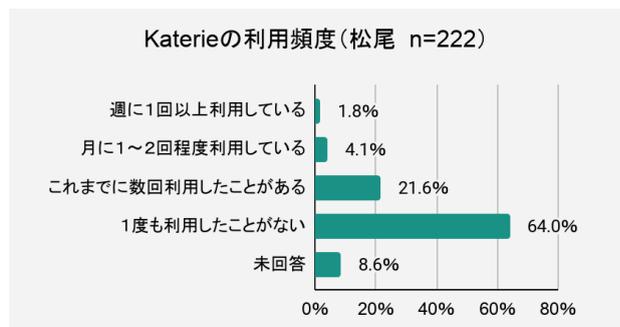
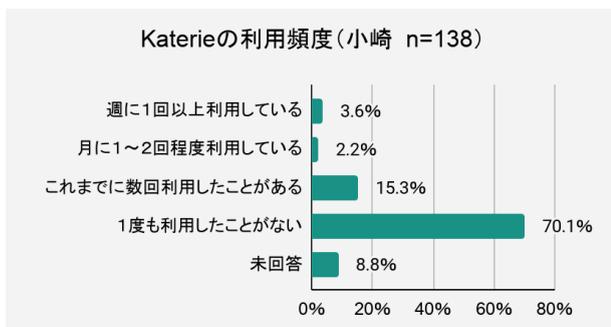
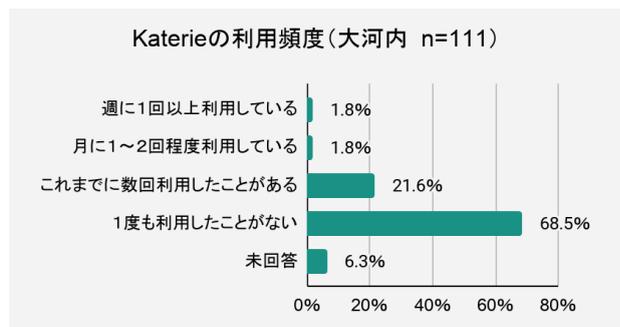
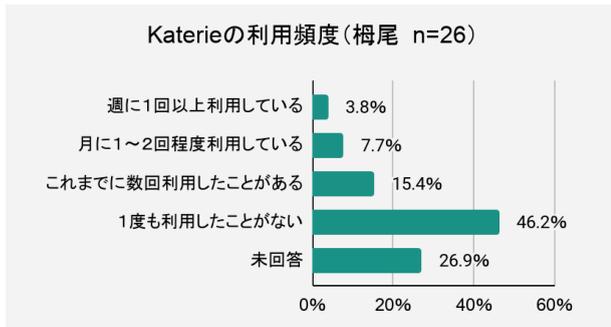
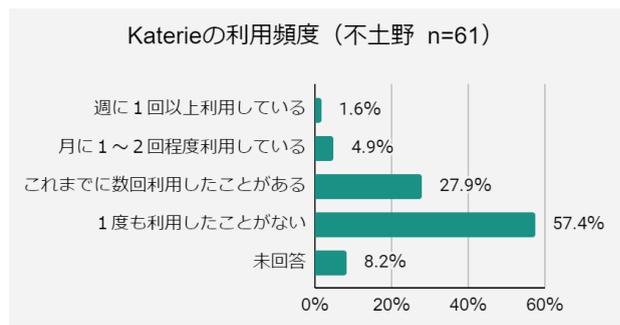
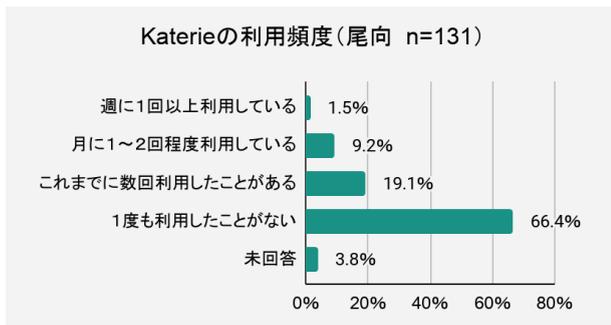
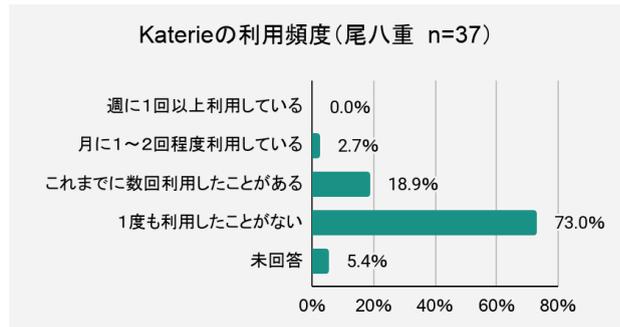
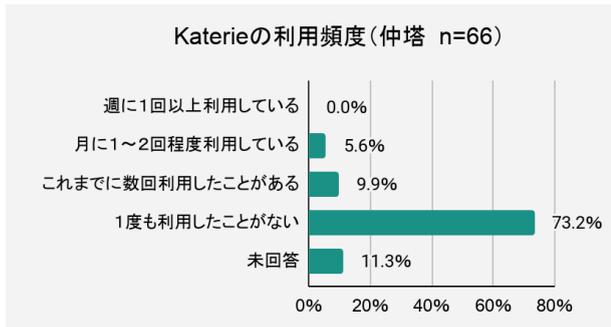
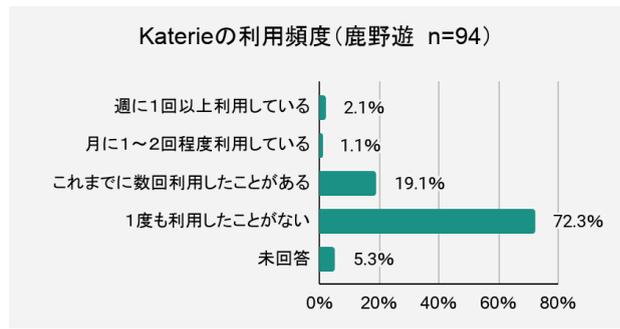
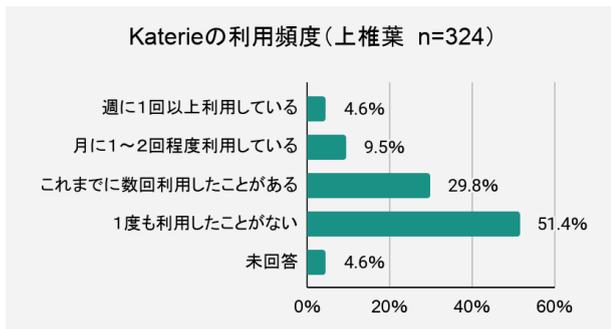


全体をみると、利用した経験がある住民が30.3%いるのに対して、一度も利用したことがない住民が62.7%でした。

年齢ごとにみると、若い年代ほど利用した経験がある割合が大きいことが分かります。70代では72.4%が「一度も利用したことがない」と回答したのに対して、10-20代ではその割合は17.9%でした。

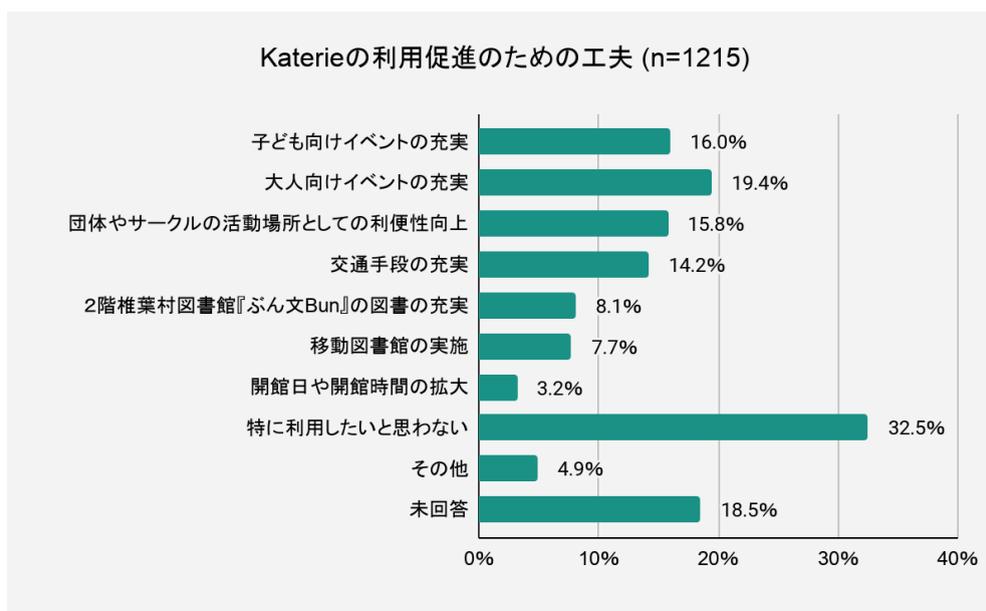


地区ごとにみると、特に上椎葉地区の利用経験が高いことがわかりました。



問24 椎葉村交流拠点施設Katerie(カテリエ)について、どんな工夫があるとより利用したいと思いますか(複数回答可)。

「大人向けイベントの充実」「子ども向けイベントの充実」というソフト面での要望が最も多い結果となりました。また、「特に利用したいと思わない」は32.5%でしたが、問23で「一度も利用したことがない」住民が62.7%であったことを考えると、これらを差し引いた30.2%の住民はまだkaterieを利用したことがないが利用したいと考えていると推察されます。



その他:

- 利用したことがないのでわからない
- 無料の宿泊施設、特に夜間
- 待っていても来る人は限られるので、来ない人の為に使いたくても使えない人の為に、本を読むのが大変になってきた人の為に、外へと発信、出ていく活動もあるといいと思います
- 体調が悪くなりなかなか行けない。寂しい気持ちがする
- 小学校5年6年、小学校の生徒の学習を見てくれ、教えてくれる人。九州大学の生徒さんをアルバイトで頼み、夏休み中にでもできないでしょうか？
- 若い世代の方にとっては、利用しやすいと思うが、高齢者、遠方である方には、なじめないと思う、中身説明を分かりやすくするためには職員との交流も必要だと思います
- 協力隊のたまり場にしない
- 飲食販売、物販があるといい
- まだ始まったばかりなので現状のままでいいと思う
- トレーニング器具の設置(高齢者のリハビリもかねて)
- これから行きたい。いい施設なので活用したい。期待している。利用状況(簡単な実績など)を月1のマガジンにのせてほしい
- ある程度のルールがあった方がいい。図書スペースで走り回ったり、ジュースを飲んだりしている子供がいる
- Wi-Fiの拡充
- いい施設だと思うが、遠いので行くことはない など

問25 あなたは、持続可能な開発目標『SDGs(エスディーゼーズ)』についてご存知ですか。

「内容や目的などについて、よく理解している」「内容や目的などについて、ある程度知っている」「名前は聞いたことがあるが、どんなものかはあまり知らない」を合わせて42.7%の住民がSDGsについて多少なりとも知っているという結果になりました。

